

小田原の魅力 映像と歌で発信

南足柄市の春めき財団

南足柄市で生まれた早咲きの桜「春めき」を活用した視覚障害者の支援などに取り組む一般財団法人「春めき財団」（古屋富雄理事長、同市塚原）はこのほど、地域活性化や視覚障害者支援の取り組みとして、県西部の景勝地などの映像やオリジナルソングで構成する動画の第2弾を制作した。今回のテーマは小田原市。古屋理事長は、小田原の良さを多くの人に知ってもらえれば、と話している。同財団では昨年、国内だけでなく海外の人



小田原魅力を詰め込んだという動画をPRする古屋理事長（右）、撮影などを担当した中島さん

にも魅力や存在を知ってもらい、地域の観光振興や活性化につなげたいと、県西部の景勝地や観光スポットとオリジナルソングで構成するオリジナル動画のインターネット配信などを始めた。第1弾は箱根町をテーマにした「芭蕉の見た富士」。今回はその取り組み

の第2弾。古屋理事長（69）は自身が住む南足柄市や箱根町と隣接する小田原市の魅力を多くの人に伝えたいと考え、今回の動画のテーマに選んだ。動画のタイトルは「小田原ってさ」。タイトルと同名の歌を古屋理事長が作詞・作曲。歌唱はミュージシャンの平野融さん、編曲は平野さんと雨宮悦子さん。歌詞では、小田原の自然や歴史、風土などを飾らない言葉で伝え

ている。

映像は歌詞や古屋理事長のイメージを元に、同財団の動画撮影などに協力する中島芳男さん（65）と小田原市が担当。これまで撮影した動画に新たに撮影したものを加え、制作した。

完成した動画は先月から、動画配信サイトYouTubeの同財団公式チャンネル（ID: tps://www.youtube.com/channel/UCBkFzh13AG1qJmbs7z8g）で公開中。時間は約5分。

映像では、ドローンで空撮した市内の風景やミカン畑、小田原城、小田原駅周辺、かまぼこやアジ寿司などの名物、季節のイベントなどを紹介。海外向けに英語字幕もつけている。

古屋理事長は「小田原は住みやすく、自然も豊富で食べ物もおいしい。歴史や文化もあり、いろいろな魅力がある。動画を通じて多くの人に知ってもらえれば」などと語った。小田原をテーマにした

動画は今回のものと合わせて3部作を予定しているという。

また動画はブルーレイディスクとしても販売している。価格は1枚2000円。ブルーレイ販売は同財団の視覚障がい者支援でもあり、売り上げの2分の1は視覚障害がある人の支援に活用するという。

問い合わせは、古屋理事長（80900784919200）へ。ホームページは、<http://narumekizaidan.com>。